

22年度京都市予算案

200億円の収入増（21年度） 値上げは必要ありません

22年度 市民負担増は 25億円・補助金削減 27億円

市民負担増の例 ①～⑤の合計 25億円

6月実施

① 3億9700万円

動物園入園料（一般）	620円→750円
二条城入城料（一般）	620円→800円
ひとまち交流館	
第4会議室・夜間	無料→4,590円
いきいきセンター（時間）	100円→600円
花背山の家（大人一人1泊）	2,300円→3,450円
学校歴史博物館（大人）	200円→300円
深草墓園永年納骨	20,000円→50,000円
醍醐交流会館ホール	16,340円→24,510円
駐車場（30分まで）	260円→300円
市税証明手数料	350円→400円
	など

高齢者インフルエンザ予防接種負担金

② 1億4300万円

（非課税）0円→1,500円

4月実施

学童保育利用料

③ 1億5800万円

（8月・月額）

非課税世帯（6時まで利用）

1,600円→1,700円

年収約300万円（6時まで利用）

4,600円→13,000円

国民健康保険料 ④ 14億円

（40～64歳2人世帯モデル）

7割軽減世帯

33,756円→35,211円

所得300万円

444,560円→452,230円

所得500万円

702,960円→712,830円

敬老乗車証一部負担金（来年度実施分）⑤ 4億8000万円

（非課税）3,000円→6,000円

23年度以降の値上げも提案!!

- ・国際交流会館 ・地域体育館などスポーツ施設 ・京都会館 ・文化会館 ・障害者スポーツセンター
- ・無鄰庵 ・宝ヶ池子どもの楽園駐車場 ・コンサートホール など、23年4月からの値上げ提案

市バス運賃8%値上げ 地下鉄運賃7%値上げ(時期は未定)

補助金の削減 27億円 あれも、これも

保育

民間保育園等職員の給与等運用事業補助金
(保育士等の給料を保障する補助金)

削減 66億円→53億円

国の賃上げ分5億8700万円も現場にまわさず!!

子育て・教育

地域子育て支援ステーション事業の実施にかかる
補助金 休止

遠距離通学費補助 基準見直し・減額

中小企業・伝統産業・農林業

商店街等競争力強化事業補助金 廃止

商店街等環境整備事業補助金 減額

産業技術研究所施設整備費補助金 減額

中小企業創業・経営支援事業補助金 見直し・削減

伝統産業施設改修等補助制度 減額

伝統産業展示会等事業補助金 減額

農業基盤整備事業補助金 減額

森林総合整備事業補助金 減額

森の力活性・利用対策補助金 減額

まちづくり・災害対策

まちの匠の知恵を活かした京都型耐震・防火リフォーム支援補助金 休止

既存住宅省エネルギーリフォーム支援補助金 休止

民間ブロック塀等の除却促進事業助成 廃止

住宅用太陽光発電・太陽熱利用設備等設置補助金
休止

市指定文化財等防災対策重点強化事業 減額

福祉

重度障害者等利用事業所支援事業補助金
補助単価見直し・削減

社会福祉協議会運営補助金 減額

ライトハウス運営補助金 減額

こころのサポート地域活動助成事業 廃止

区ボランティアセンター運営事業補助金 財源見直し

外国人留学生国民健康保険料補助事業 廃止

文化芸術

(一財)HAPS(若手芸術家等の居住・制作・発表の場
づくり) 補助金 減額

京都市交響楽団事業負担金 減額

2月予算市会の日程

開始本会議 2月17日

代表質疑 2月28日、3月1日

(日本共産党議員は28日午後)

予算特別委員会局別質疑

3月2日~9日

市長総括質疑 3月15日、16日

閉会本会議 3月25日

請願・陳情メ切 2月24日

**子ども若者はぐくみ局長が、監査をめぐる受託収賄の容疑で逮捕されるという、
重大な事態が起きました**

○第三者機関の設置等、全容と真相を明らかにすべきです

○市民に負担を押しつけることは市民の理解を得られません。「行財政改革計画」の具体化は中止すべきです。